

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	畜産経営環境保全対策事業			事業コード	0611
担当課等	所属名	農林部 農政課	担当係名		
	課長名	小原俊彦	担当者名	加藤 宏之	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	活力ある農林業の振興	コード 1
	基本事業	生産意欲と技術の向上	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 6款 1項 4目 畜産経営環境保全対策事業 (004-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒ (開始年度 昭和49年度～)					
事務事業の概要	畜産経営に起因する環境汚染等の発生予防と家畜飼養環境の整備を進めるための現地調査・指導業務を行う。					
根拠法令等	家畜排泄物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
畜産経営の大規模化や労働力不足を背景として堆肥利用の減少が進んだ一方、家畜排泄物が地域に及ぼす問題が生じたため、畜産の健全な発展を図ることを目的として開始された。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
資源循環型社会への移行及び家畜排泄物の適正な管理が求められている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
「家畜排泄物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律」が平成11年11月に施行された。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	盛岡地域の畜産経営者	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 畜産経営者	単位	戸
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 法定管理基準対象者(牛10頭以上飼養)の施設点検及び環境汚染等の発生予防のための巡回指導を行った。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 法定管理基準対象者(牛10頭以上飼養)の施設点検及び環境汚染等の発生予防のための巡回指導を行う。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 改善を求めた畜産経営者	単位	戸
				B. 施設点検対象者	単位	戸
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	畜産経営に起因する環境汚染を防止し、環境に負荷をかけずに資源リサイクルを行う畜産経営者の育成を図る。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 排泄物管理の改善した畜産経営者/改善を求めた畜産経営者	単位	%
				【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】		
				B.	単位	
				【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】		
				C.	単位	
				【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】		
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	自立が図られる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	都市・農山村交流人口(単位:人) 農業純生産額(単位:百万円) 林業純生産額(単位:百万円)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	畜産経営者	戸	171	177	180	175	180	180	年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	改善を求めた畜産経営者	戸	0	0	0	0	0	0	年度
活動 指標B	施設点検対象者	戸	24	28	24	14	14	14	年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	排泄物管理の改善した畜産経営者/改善を求めた畜産経営者	%	100	100	100	100	100	100	年度
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	22	22	17	17	17	17	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	22	22	17	17	17	17	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	22	22	17	17	17	17	*****
	延べ業務時間数	時間	80	80	80	80	80	80	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	320	320	320	320	320	320	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	342	342	337	337	337	337	*****


3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 家畜排泄物の適正管理で環境に悪影響を与えずに資源循環が可能となり、安全・安心な農畜産物が生産可能となることから、農林業者の経営基盤強化に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 市民の安全な生活、畜産業の健全な発展が目的である。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 畜産経営者を対象に指導している。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 家畜排泄物の適正管理及び利用の促進のため。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	理由: 管理指導が必要な畜産経営者は現状ではない。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 今後の適正化のため、管理指導の継続は必要である。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由:
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 事業経費は最小限である。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 事務効率を考え、最低の人員で行っている。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: すべての畜産農家が対象である。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 畜産経営者の責任において適正管理されている。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革 改善 方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること ②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)
----------------	---

5. 課長意見

一次 評価	(1)一次評価者としての評価結果 ① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :	(2)全体総括(振り返り, 反省点)
今後 の 方向 性 と 改 革 改 善 案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案) <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	
		
方向付けの理由と改革改善の内容 畜産経営に起因する環境汚染の防止はもとより、周辺住民の生活環境の保全も図られることから、継続して実施していく。		